

奄美図書館だより

〒894-0016 奄美市名瀬古田町 1-1 Tel 0997-52-0244
HP address: <http://www.library.pref.kagoshima.jp/amami/>
E-mail address: ama-lib@pref.kagoshima.lg.jp

毎月23日は、
子どもといっしょに
読書の日

令和3年1月1日発行
第355号 (1月号)
鹿児島県立奄美図書館



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

館長 日高 京美

お正月の食べ物といえば雑煮。日本は土地により餅の形（丸餅 or 角餅）、出汁や具の違いがありそれが特色となります。私の家は両親が宮崎出身のため、丸餅と地鶏が入った雑煮でした。奄美のお正月は「三献」でもてなすと聞きました。来年こそは多くの方で「三献」を囲めることを切に願います。

県立奄美図書館長の任を受け、九ヶ月過ぎました。今振り返ってみますと、日々コロナ禍での図書館の役割を模索し続けたように思います。4月に赴任して間もなく全国一斉の緊急事態宣言が出され、不要不急の外出の自粛、人が集まりやすい公共施設閉館の要請と続き、当館も休館を余儀なくされました。これまでの「奄美の方々に親しまれ、人が集うことができる奄美図書館であれ」が根底から覆されたように感じた出来事でした。しかし一方では、「無料の貸本屋」と揶揄されることもある公共図書館の意義や役割が見直されたようにも思います。今、ネットでの情報は氾濫し、フェイクニュースやデマが拡散しています。そういうとき、人は印刷物を求める傾向にあるといわれます。印刷された本や新聞の手元に届くまでの労力が、伝えられる情報に安心感を与えるのかもしれませんが、いつでも誰でも気軽に立ち寄れ、読みたい本を探すことの出来る図書館が開いていることは、外出が躊躇われるコロナ禍の今、安心の象徴なのかもしれないと思っています。

現在当館は通常開館はしているものの、手指の消毒、マスクの着用はもとより、滞在時間は30分以内に、間隔を開けて座ることをお願いしています。例年人気で100名以上の参加者があったクリスマスおはなし会も、今年度は定員を半数に絞り予約制で行ったため参加をお断りすることにもなりました。参加をお断りした皆様には心からお詫び申し上げます。

このような状況はしばらく続くと覚悟して、事態を嘆くばかりでなく、図書館の役割が大きいことの現れだと思いたい。幸いにも、来館者は減っているものの、一回の来館で多くの本を借りる傾向にあり、貸出冊数は昨年よりも多くなっています。来館する回数や滞在時間を減らして、借りてきた本を家でゆっくり読むという生活様式が定着しつつあるのかなあと思うことです。当館には23万冊あまりの蔵書があります。一日1冊読んでも650年かかりますから、どんどん借りて読んでください。

奄美図書館は利用される皆様総ての方々の健康を願っております。そのためにも、感染対策は「ここまでの？」とお叱りを受けるくらい、二重にも三重にも行っていかなければと思っています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、皆様にとりまして健康で心平穏に過ごせる一年でありますように切にお祈りいたします。

あまみならでは学舎7回目

今年度最後



ウアンフィネヤセと年取り餅

フチムチとクマタケラン

島料理と環境文化



講師：泉 和子さん（島料理研究家）

日時：令和3年1月16日（土） 午後2時～3時30分

場所：奄美図書館4階 第1・2研修室

※ 1月のイベントに関するお問い合わせは、県立奄美図書館 52-0244 までお願いいたします。

参加にあたってはマスクの着用、検温へのご協力をお願いします。また、配慮や支援が必要な場合は、お気軽にご相談ください。